

10月定例教育委員会 会議録

日 時	令和5年10月11日（水） 午後3時00分～午後3時40分
場 所	本庁舎 9階 会議室9-2
出席委員	數野教育長・市川職務代理者・原委員・末木委員・塚越委員
出席事務局職員	飯田教育部長・岡部教育総室長・林生涯学習室長（歴史文化財課長兼任）・中田総務課長・風間学校教育課長・石川学事課長・千野甲府商科専門学校事務局長・浅井教育施設課長・森本生涯学習課長・臼井スポーツ課長・青木図書館長・宮崎総務係課長補佐・菱山総務係長・坂本総務係主任
傍 聴 人	なし
署名委員	
委員会書記	

・教育委員あいさつ

・会議録署名委員の氏名 末木委員

・9月定例会会議録の承認 原案のとおり承認

數野

末木

市川

塚越

原

1 開会

數野教育長

これより10月定例教育委員会を開会します。

末木委員をお願いします。

(1) 教育委員あいさつ

末木委員

記録的な暑い夏も10月に入りやっと終わり、朝夕の気温は一気に下がり、秋らしい季節になりました。急激な気温の低下に体がついていけない中で、インフルエンザがすでに流行し、新型コロナウイルスへの備えも引き続き行わなければなりません。くれぐれも体調の管理に努め、やっとなつてきた秋を楽しみたいものです。

さて、先週、文部科学省が2022年度の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果を公表しました。いじめ件数最多の68万件、不登校最多の29万人などとマスコミで大きく報道されました。

この調査は、学校現場の様々な課題を把握するために毎年行われ、昨年度は不登校、いじめ、暴力行為が過去最多で、自殺が過去2番目に多い人数となっています。

この厳しい状況報告の中で、私が気がかりになったことが2点ありました。

1点目は、不登校の小中学生のうち4割近い児童生徒が、学校内外で専門家からの相談や支援を受けられていなかったことです。

本市では、スクールソーシャルカウンセラーを増員し、「甲府市児童生徒支援センター すてっぷ」を開設するなど、相談支援体制の充実を図っていますが、誰一人として相談・支援の繋がりが途切れることのないよう、引き続き取組を続けていきたいと思えます。

2点目は、いじめによって相当期間の欠席を余儀なくされたり、心身に深刻な被害が生じたりした疑いがある場合に認定される重大事態は、前年度より3割増えています。そのうち4割が深刻な被害を把握する前にいじめと認知できていなかったとのことであります。

いじめから子どもの心身を守るためにつくられたいじめ防止対策推進法の施行から、先月で10年が経ちました。いじめを広く定義して、早めに気づき深刻化させないことを目指しているにもかかわらず、このようなことが出てくるのは、いじめについての事実認識が、関係者の間で十分に共有されていないことがあるのかもしれない。

本市でも、定期的なアンケートの実施や随時の相談などを行っていますが、何よりも日々子どもと接している教員の気づきに負うところが大きいことは言うまでもありません。子どもと向き合う中で、ほんの些細な行為や無策が後々重大な結果を招いてしまうこともあり、日々の細かな言動や、接し方などの繊細な配慮が求められています。

ただ、現状は様々な業務が増え、子どもと接する時間を十分に持てない教員が多くいます。既に働き方改革により、業務の見直しや削減に取り組んでいますが、さらにこれを進め、教員が専門性を発揮して、子どもと向き合う時間を増やしていかなければと思います。

子どもにとって学校が、安全な環境で安心して学べ、そして多様な他者と豊かな関係を持てる場所だ、と思ってもらえればと願っています。

御清聴ありがとうございました。

(2) 会議録署名委員の指名

数野教育長

会議録の署名委員は、原委員にお願いします。

(3) 前回会議録の承認

数野教育長

前回の議事録について、何か御意見ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

2 議事

(1) 報告

數野教育長

第13号 甲府市議会9月定例会の審議状況について

第14号 令和4年度決算審査特別委員会の審議状況について

資料に基づき、中田総務課長から一括で説明をお願いいたします。

(中田総務課長から資料に沿って説明)

數野教育長

説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

御意見、御質問等ありませんか。

市川職務代理者

AIを使用して、教員が教材の作成等をしているといった例を把握していたら、どのようなものがあるか教えていただければと思います。

もう一点、感想になりますが、ついこの間、AIといったものがあるという話を聞いたと思ったら、もう簡単なレポートが作れるほどに活用ができ、かなり精度も上がっているとのことで、本当にAI分野での技術革新は激しく進んでいるなど感じております。

この資料の答弁の中でも、教員のAIに関するリテラシーの向上ということを書いていますが、AIの進歩、社会への浸透がかなり速いので、教員のリテラシー向上について考えている間に追い越されたり、ついていけなくなってしまうのではないかと懸念もありますので、教員に対し効果的な研修を実施していただき、理解を深められるようにしていただきたいと思います。

風間学校教育課長

最初の御質問ですが、今年の7月に国から山梨県、山梨県から本市教育委員会に対してAIについてのガイドラインが示されました。その中で、小中学生は基本的にはAIを使用可能な年齢には入っていないので、小学校はすべて除外となっています。また、中学生は保護者の許可を得れば、使えるものもあるという形になっています。

指導主事に確認したところ、小学校では、子どもたちにAIを使わせるという扱いではなくて、教師が自分のパソコンを繋いで、子どもたちにAIの使い方を示すといった授業があったようです。

具体的には、修学旅行に行く学校の教員が、自分たちの旅行コースについて、もっと効率的な周り方があるか等を生成AIに尋ねて回答をもらい、そこまでの一連の流れを子どもたちに示しました。

中学生においても、現状では、保護者の方に許可を取って子どもたちにAIを使わせるというようなことは、行っていないようです。適切な活用ができるように、各学校に指導助言をしていきたいと思っています。

二つ目の質問についてですが、市川職務代理者が仰ったように、生成AIの進化は相当なものであると感じています。

この資料でも「機動的に改訂が行われるガイドラインに基づき」という答弁をおこなったことが記載されていますが、これはA Iの進化によって、新たなガイドラインが出てくることを表しています。

先日は、指導主事が事務職員の研究会で、事務の先生方に向けてA Iの使い方をレクチャーする機会もありました。

県下でも、例えば、挨拶文のアイデア案を生成A Iからもらうといった使い方も出てくるのではないかと思います。適切に使えるようなアドバイスを重ねていきたいと考えています。

原委員

11ページの報告第13号について、気になっている事がございます。

身近なことですが、今の10歳代後半から20歳代の若い世代について、生まれ育ったふるさとである甲府市への愛着が乏しいのではないかと感じる事が多々あります。

地域愛の醸成は、もちろん、一長一短に根づくものではありませんので、答弁の中で仰ってますように、子どもたちの夢の育成や甲府市への愛着を高める事業について期待をしております。

報道では、教師の志願者不足ですとか、消防団や警察官が不足しているということも言われておりますけれども、地域を支える働き手の不足が問題視されておりますので、今の小学生、中学生が就職を考えるときに愛着のあるふるさと甲府市でということが、選択肢の中に入れてほしいと私は思っておりますので、是非この事業を進めていただきたいと思っております。

よろしく申し上げます。

森本生涯学習課長

貴重な御意見をいただき、ありがとうございます。

本日も市内の小学校で「こうふドリームキャンパス」を開催いたしまして、その学校の出身であるヴァンフォーレ甲府の選手を「夢の先生」として迎えて開設させていただいております。

子どもたちもやはり、本校の出身者ということで、なおさら興味を持っているようで、将来、もしかしたら、ヴァンフォーレ甲府の選手になりたいと思う子もいるかもしれませんし、色々な生業をされてらっしゃる著名人の方の貴重なお話をお伺いすることにより、より夢の幅が広がってくるのではないかと考えています。

また、こうふドリームキャンパスは小学校だけではなくて、コンサート等の市民全体を対象にした事業をすることによりまして、例えば「甲府市の歌」ですとか、皆ですばらしい音楽を聞くなどの機会を設ける中で、甲府市というものに対する将来ですとか、自分たちの将来について甲府市に根付いた形になっていただけるように、引き続き実施して参りたいと思っております。

よろしくお願いたします。

塚越委員

公立夜間中学校設置の件になります。

不登校や家庭の事情など、様々な理由で義務教育を受けられなかった、或いは十分に学ぶことができなかったという方がいるというふう聞いております。

多様な生き方が尊重されるためには、学び方もまた多様な選択肢が用意される必要があるのではないかと思います。

学びたいけれど、学びに費用を充てる余裕がないという方もいらっしゃると思いますので、そういった点でも自治体によって公立夜間中学校が設置される方向で進んでいくことを願っております。

お願いいたします。

二つ目につきましては、小中学校等の社会体育用のトイレについてです。

まず、改修等を行っていただいていることについて感謝申し上げます。費用や構造等の問題もあり、すぐには難しいかと思いますが、地域の行事に参加したいと考えている方や車椅子を利用している方が、トイレの心配があって参加を控えることがないように、誰もが利用しやすいトイレという形で改修等を進めていただけるとありがたいと思いました。

よろしく申し上げます。

風間学校教育課長

ありがとうございます。

塚越委員が仰ったように、色々な学びの機会、幅があることは大切なことであると感じております。

国でも、令和3年度から5年間で、都道府県に少なくとも1か所、夜間中学を設置するといった目標を示したところですので。答弁の中にもあるとおり、山梨県教育委員会でも、夜間中学校の設置に向けてニーズ調査等を進めていくという動きがあるとのことですので、山梨県教育委員会とも情報共有をする中で、どのように進めていくかということ、甲府市教育委員会としても検討していければと考えております。

臼井スポーツ課長

社会体育用のトイレについてでありますけれども、現在、小中学校等に設置されている社会体育用のトイレはクラブハウス形式というもので、同じ建物の中に倉庫部分とトイレ部分があるという形になっております。

そういった事情もあり、全面的に建て直しということが非常に難しい状況にあります。和式トイレについては、お子さん方であれば使い方を知らなかったり、年配の方ですと、足が悪い場合には使いづらいということがございまして、今年度、簡易的な方法ではありますが、一部形状的に不可能な学校を除き、全部の学校で今あるトイレに下駄を履かせるような形で、和式トイレを洋式トイレのようにお使いいただけるように改装を行うことになっております。

今年度中には、工事可能な全ての学校で工事が終わる予定となっております。そちらを現在進めているところでございます。

また、旧穴切小学校の社会体育用トイレについては、現在、工事現場で使うような簡易トイレが設置してありますが、そちらが非常に老朽化をしているため、今年度、ユニット式というトイレを設置しまして、利用者や市民の方の御要望お応えする形になっております。

塚越委員

ありがとうございます。引き続きよろしく申し上げます。

もう一点、中学校休日部活動の件についてお伺いさせていただきたいと思っております。

少子化の中で各学校では部活動が続けられない状況があるということも伺っておりますので、

ブロック化によって、子どもたちが希望する部活動に参加できるようにする取組というのはありますがたくさんあります。

一方で、生徒の練習会場までの交通手段やその安全、それに関わる保護者の負担増加等が気になるところでございます。中学生なので、会場までは自転車や公共交通機関を利用して向かうことができると思いますが、会場までの距離、或いは身体的事由によって、保護者の方の送迎等が必要になることも考えられます。

そうしますと、部活動への参加が難しい生徒がいるのではないかと思いますし、費用や時間の面で、保護者の方にかかる負担が増えることもあるのではないかと考えています。

そういった点について、現在の取組や検討の中で、何か対応を考えていいようでしたら教えていただければと思います。

風間学校教育課長

塚越委員が仰ったように、休日における部活動の地域移行を検討しておりますが、土曜日或いは日曜日の地域での部活動実施時に、保護者の方が送迎したり、中学生自身が自転車で向かうということは十分想定できます。そういった面では、負担の増加にはなってしまうと思います。

市内で四つのブロックを構成する時に、なるべく近くの中学校で構成できるように考えており、練習会場までの移動距離が遠くならないようにしたいと思っています。

それから、費用負担についてですが、練習会場までの移動や練習しているときの怪我については、平日に適用されている独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度は適用外になってしまうので、新たに土曜日、日曜日のための保険を掛ける必要があり、そういった面では、保護者の方に費用負担ということになってしまうと思います。

また、地域の方などに指導をしていただくこととなりますので、そういった方への謝金も発生してしまうため、そのような面でも、保護者の負担増加になってしまうと思います。

また、国、県から補助金が貰えるのかどうかということも確認をしながら、なるべく保護者の方の負担が少なく抑えられるように検討していきたいと考えています。

以上です。

塚越委員

生徒の経験を保障するという点で、ありがたい取組であると思っておりますが、家庭の事情などで、部活動をやりたいけれども、参加できないというような状況がないように検討していただけるとありがたいと思います。

數野教育長

塚越委員の質問については、部活動の地域移行に関する検討会議でも課題になっていることでございますので、引き続き様々な方の御意見を聞く中で方向性を出せればと思っておりますので、よろしく申し上げます。

その他何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

では、確認しました。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

3 その他

数野教育長

その他、何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

4 閉会

数野教育長

それではこれもちまして、10月定例教育委員会を閉会します。